

# AV REVIEW

2010  
December

12

定価 980円

第2特集

## 発表! ビジュアルグランプリ 2011



第3特集

極める!  
ネットオーディオ

総力特集

テレビを越えた映像世界

# プロジェクター 新世紀。

1200を越す  
エントリーの中から  
選ばれた  
VGPモデル  
一挙掲載



# DIGITAL SOUND REVIEW

取材・執筆

大橋伸太郎 / 高橋 敦 / 林 正儀 /  
山之内 正

「ファイル」をメインソースとしたネットワーク／PCオーディオや  
高音質音楽配信が着実に浸透しつつある今、オーディオは着実に次世代へと歩みを進めつつある。  
ビジュアル分野においても、映像配信からDLNAなどネットワークAVに至るまで、その変化は急速に進んでいる。  
デジタルサウンドレビューでは、最先端のデジタルオーディオ&AVをいち早くレポートしていく。

## Contents

- 184 デジタルサウンド特集「ネットオーディオのためのコンパクトスピーカーを試聴する」
- 188 デジタルサウンド・スクランブルテスト
- 194 山之内正のデジタルAV最前線



# ネットオーディオを存分に楽しめる コンパクトスピーカーを試聴する

コンパクトでミニマムなシステムで高音質再生が可能なネットオーディオに最適なコンパクトブックシェルフ・スピーカーはどんなモデルか。厳選6モデルの徹底試聴を行った。

取材・執筆  
高橋 敦

## ネットオーディオに最適な スピーカーを検証する

コンパクトで高い再生能力を発揮するブックシェルフスピーカーは、ミニマムなシステムで本格的なサウンドを楽しめるネットオーディオと非常に相性が良い。ネットオーディオをこれから始めてみようという方や、サブシステムとしてネットオーディオの導入を考えている方にも、コンパクトなブックシェルフはお薦めだ。今回は、ネットオーディオとコンパクトブックシェルフ型の各モデルの相性をはかるべく、税抜き価格で10万円未満の6製品をピックアップして試聴テストを行った。

試聴して改めて感じたのは、このクラスの製品がエントリーやサブというには十分すぎるほどのクオリティを持つということ。ただ、それだけに各製品の個性と自身の志向が合致するか見極める必要があるだろう。

## 様々な音源や試聴環境を 考慮してテストを行った

今回は特に小音量再生とニアフィールド（近距離）再生の印象についてもテストした。ミニ

マムなシステムやデスクトップ・システムでの利用環境を考慮してのことだ。

加えて、ハイレゾ音源と圧縮音源を再生した際の印象も付記し、ジャンルとの相性もひとつの指標として評価してみた。

ハイレゾ音源の「らしさ」というと、低音の軽やかさ、空間性の豊かさ、空気感などが挙げられる。ハイレゾ音源の再生はネットオーディオの大きな魅力のひとつであり、これらを十分に引き出せるかに着目したい。

圧縮音源との相性は難しい。高度な描写力を持つスピーカーは当然、圧縮に起因するノイズ感も忠実に再生してしまう。それは基本的には避けようがない。

本格的なオーディオを楽しむのであれば非圧縮、あるいはロスレス圧縮音源での再生が必要だ。しかし、カジュアルに楽しめるネットオーディオでは、圧縮音源をどのように再生できるかも、ひとつの基準になり得るのではと考えた。

ジャンル相性については、「各ジャンルでの筆者の試聴曲とのピンポイントの相性」であるので、参考程度にしてほしい。

今回はネットオーディオでの使用をテーマにしつつ、通常のスピーカー試聴とは少し趣向を変えた部分がいっつかあるので、そのあたりにぜひ注目していただければと思う。

## レファレンス

- パソコン:Mac Book Air ●USB-DAC:RATOC RAL-2496UT1
- プリメインアンプ:ACUPHASE E-250
- USBケーブル:FURUTECH GT2 USB-B



USB-DAC  
RATOC RAL-2496UT1  
¥56,700



プリメインアンプ  
ACUPHASE  
E-250  
¥294,000



USBケーブル  
FURUTECH  
GT2 USB-B  
¥8,400(0.6m)~

## 取材方法

- 試聴用の音楽ファイルとして、CDリッピング(WAV)、配信で購入したハイレゾ音源(WAV)、および配信で購入した圧縮音源(AAC)を用いた。
- 通常の試聴に合わせ、ハイレゾ音源再生、圧縮音源再生、ニアフィールド再生、小音量再生、
- 試聴にはMac Book Air+USB-DACのシステムにて下記の音源を再生した。
- ニアフィールド試聴については、試聴位置から1mの距離にスピーカーをセッティングして最適なボリュームに調整し、試聴を行った。

## 試聴した音源

<基本音質の評価>

- Jacintha「Lush Life」(Groove Note Records)
- Jimi Hendrix「Valleys Of Neptune」(Sony Legacy)
- Hilary Hahn「Bach: Violin Concertos」(DG)
- ※音源はCDからのリッピング

<ハイレゾ音源>

- Mathias Landaeus Trio「Opening」(MARRecordings)

<圧縮音源>

- AKB48「ポニーテールとシュシュ」(キングレコード)

<ジャンル相性の評価>

- 【ジャズ】Jacintha「Lush Life」
- 【ロック】Jimi Hendrix「Valleys Of Neptune」
- 【ポップス】AKB48「ポニーテールとシュシュ」
- 【クラシック】Hilary Hahn「Bach: Violin Concertos」

## MODEL3



### 厚みのある音色と音場再現

独自の同軸ユニットの最新世代を搭載するブックシェルフ機。ウーファー振動板の素材を樹脂系からアルミに変えるなど、大幅な刷新を施した最新モデルだ。今回紹介するモデルの中では大柄な製品だが、同軸ユニット一発構成であり、位相の揃い方はむしろ優位を持つ。

さすがに音色や音場の厚みに余裕がある。ボーカルはやや大柄で、存在感の強さが際立っている。ドラムスの各パーツの太さ、暖かみのある抜けも好感触だ。ジミ・ヘンドリクスのベースは低音が大きく唸る。シンバルは少し強めの音色で再生される。

## MODEL4



### 凛として好ましいボーカル

新鋭ブランドの小型高性能機。トウイーターは純アルミ製のリボン型。ウーファーはモガミ紙コーン採用。トウイーターとウーファーのクロスオーバー周波数を通常よりも上の帯域にスライドさせ、ウーファーをほぼフルレンジ的に稼働させることで、音のつながりをスムーズにしている。

ベースはさすがに軽めだが音程感は確か。シンバルは音色の芯を適度に残し、粒子感も良い。ボーカルの立ち姿が凛としているのも好ましいところだ。低音がすっきりしていることが良い方に働いてか、コントラストが明瞭で、スタッカートも十分に効いている。

## KEF Q300

¥69,300

### <SPEC>

●形式:2ウェイ(同軸)・バスレフ型 ●ユニット:165mmウーファー×1、25mmトウイーター×1  
●周波数帯域:42Hz~40kHz ●能率:87dB ●インピーダンス:8Ω ●クロスオーバー:2.5kHz ●外形寸法:210W×355H×302Dmm ●質量:7.7kg ●問い合わせ先:KEF JAPAN ☎042-388-2030



背面端子

### 音源・再生環境による音質

ハイレゾ音源の再生	低音の量感が充実していて、ハイレゾ音源でしばしば感じる低音の軽さのようなものは感じられない。各音像の緻密な定位感から生み出される、高度な空間性は見事である。
圧縮音源の再生	圧縮音源は低域がある程度カットされていることと関係あるのだろうか、低音の量感の印象がやや変化する。しかし、全体として圧縮音源との相性は良好と言える。
小音量再生	低音の量感は落ち着くものの、全体のバランスは通常再生時の良さを保つ。シンバルも少し落ち着いた音色になるが、ボーカルの充実感には十分に維持しており、好感触。
ニアフィールド再生	近距離で視聴すると、音量を下げても低音の輪郭が不明瞭にならないことが確認できる。同軸ユニットの強みだろう、近距離で聴いてもユニット間の継ぎ目を意識させない。

### 各ジャンルとの相性

ロック	★★★★	ポップス	★★★★
ジャズ	★★★★	クラシック	★★★★

## mhi EVIDENCE MM01A

¥84,000

### <SPEC>

●形式:2ウェイ・バスレフ型 ●ユニット:127mmウーファー×1、20mmトウイーター×1 ●周波数帯域:65Hz~120kHz ●能率:90dB ●インピーダンス:4Ω ●クロスオーバー:10kHz ●外形寸法:152W×247H×229Dmm ●質量:4.0kg ●問い合わせ先:エスコマース(株) ☎03-3588-8481



背面端子

### 音源・再生環境による音質

ハイレゾ音源の再生	再現される音場のスケール感は小さめで、低域がやや弱いので全体の空気感も薄め。その一方で、すっと奥に引いて展開する緻密な音場の、見通しの良さは抜群だ。
圧縮音源の再生	試聴した音源はレンジを狭めて情報量を詰め込むアレンジとミックスで、圧縮されたことで相当にうるさくなっているのが、本機はそれを適度に落ち着かせてくれる。
小音量再生	低域の減少はそれほど気にならず、全体のバランスはある程度維持される。シンバルは、ふわっという粒子の広がりよりも、カチッとした芯の部分の割合が強まる印象だ。
ニアフィールド再生	小音量再生の音量のままニアフィールドに寄せると、ベースの手応えが確かに。中高域側の粒子感や響きの成分も強まり、全体のバランスや感触は向上すると言ってよい。

### 各ジャンルとの相性

ロック	★★★★	ポップス	★★★★
ジャズ	★★★★	クラシック	★★★★